

そして、未来へ。かながわ人に聞く。

TOP INTERVIEW

企画・制作 神奈川新聞社 クロスメディア営業局



曙建設株式会社
代表取締役会長 関 曙慶氏

上場企業を取引先に建設営繕工事を行っている曙建設はこの10月に創業60周年を迎えた。先代から受け継いだ事業をさらに飛躍、安定させ新規事業も拡大させてきた関曙慶会長に、60周年を迎えての振り返りと経営ポリシーなどを伺った。

このたび60周年を迎えられました。

おかげさまでこの10月に60周年を迎えることができました。誠にありがとうございます。当社は、初代・関常雄が創業し京浜急行の分譲住宅の建設からスタート。大手電機メーカーとご縁をいただいた後は、主に上場企業を取引先に工場建設や生産設備の新築・増築、改善・改修工事などを幅広く請け負ってまいりました。お客さまのご要望に最善、最良を尽くし満足いただける工事を行う「曙品質」、その実績と評価に対して「曙プライド」を持ち、感謝をもって仕事を積み重ねてきた結果です。

事業の特徴はどのような点があげられますか。

ゼネコンが大規模な建設工事を請け負うことに対して、当社はニッチなコントラクター(すき間事業を狙った建設会社)、私流に言わせていただくと「ニチコン」であり続けていることです。昔、初代から言われたのは「仕事は熊手で掻いてもつてくるのではなく、耳掻きで掻いたものをいただく」ということでした。当社ではお取引先に長年担当者が常駐し、工場や設備の改修点などについて最新の情報を収集しています。ですから入札においても一歩先んじた提案をすることができ、痒いところに手が届く提案と施工を行う、当社ならではのビジネスモデル、ニチコンとしての地位を確立し、それを貫いてきたことではないでしょうか。

グループとしてフランチャイズ事業も展開しています。

これも先代の教えとして売り上げ比率を分散すべき、という考えがありました。そのため私の代でリスクマネジメントとして、会社の資産として不動産を計画的に所有し賃貸収入を確保し、コンビニエンスストアのフランチャイズ事業を始めました。コンビニは現在

60周年の節目から次の時代へ

10店舗に伸び、「うなぎ蒲焼き」おせちなどの催事では7年連続日本一の販売実績を達成するなど順調に伸び、本部より毎年表彰を受けています。事業規模として建設業に肩を並べるまでに至っています。私の本音としては建設業をさらに伸ばして現在の倍以上の売上規模へ成長させたいと思っています。



2017年上期
優秀店表彰
コンビニエンスストアの優秀店舗表彰式において

経営ポリシーを教えてください。

10年ほど前のリーマンショックの後は、当社もだいたい苦戦しました。それもあって一時期、外出を控え、日本の名だたる経営者や経営理論について研究をしました。いろいろなることを勉強しましたが、その一つが「人は口に出した通り考えた通りになる」ということです。謙虚さやへりくだることも大切ですが「自分はこうなる、ならう！」と思うことが大切だと。だから経営姿勢も「I have confidence」「Yes I can」「I must do it」自らを鼓舞し前へ進んでいくことを基本にしています。

一方で感謝を忘れてはいけません。祖先、両親への感謝はひとときも忘れませんし、祖父母が徳を積んでくれたおかげで今の私があるのです。だから私も日々徳を積むために努力しています。二宮尊徳が遺した報徳思想に「勤儉二分度」「推譲」とあります。徳を積み、相手のために尽くすことを肝に銘じています。有名な「たらいの水」の例話のように、欲心を起こして水を自分の方に掻き寄せると向うに逃げる。人のためにと向うに押しやれば我が方に帰る。その精神と姿勢、実践する行動力が大切だと思います。

曙建設株式会社のプロフィール

- ▶ 所在地: 横浜市中区扇町4-11-8 ▶ 設立年月: 1958(昭和33)年10月
- ▶ 事業内容: 総合建設業(土木、建築、設計施工)
- ▶ 電話番号: 045-662-2451 ▶ URL: <http://www.akebonokk.com/>

会長の横顔

「趣味が結果として仕事に結びつくこともあります」と話すように関会長は実に多趣味だ。人間としての器、教養を磨くため文化的な趣味を幅広く嗜む。弓道、茶道、社交ダンス、書道、大正琴。「70歳を過ぎた今でも毎月、8人の先生に稽古ごとを習っている人間はそういないでしょう」。仕事も趣味もますます充実。しかし「茶道や書道をはじめ習うのではなくすでに指導できるものばかりですね」と言葉を投げかけると「いやいや、まだまだ死んでも勉強です」と穏やかにほほ笑んだ。